

## インターネット上でのファッション情報に関するアンケート調査

○團野 哲也\* 村上 かおり\* 篠原 えりな\* 友安 嘉代子\* 富士 香菜子\*\*  
酒井 哲也\*\* 酒井 豊子\*\*\* (\*高知女大, \*\*共立女大, \*\*\*放送大)

[目的] WWW サービスを調査メディアとして見た場合、予算、調査人員、取り扱える情報の種類と量、データ処理等の面でメリットがあり、今後一層の発展が望まれている。本研究ではすでに紙媒体を用いて行われたファッションに関するアンケート調査を、Web 上で行なうための諸問題を検討した。またアンケートを実施してその結果を整理するとともに、メディアの違いが調査結果にどのように影響するかについても検討した。

[方法] CGI を用いたアンケートページを HTML にて作成し、高知女子大のサーバー上で公開。1997年1月28日13:00～2月24日13:00の期間本調査を行なった。公開に先立ち、家政系、教育系大学、マスコミ等、約100箇所へ協力依頼のE-mailを送付した。

[結果] アンケートページの体裁では、“幾つかの画像を並べ替える質問は、比較が容易になるようにすべての画像を1度で見たい”とのコメントが回答者から多く寄せられた。しかしながらWWWでの調査票はモニタサイズという絶対的な制限があるので、回答者の負担が最も少なくなるようなページ上での並べ替えの方法を開発しなければならないことがわかった。また、性別、年齢、アクセス地域といった回答者の属性に偏りが大きかった。